

地域がん診療連携拠点病院 <川崎市立井田病院からのお知らせ>



第48号 井田山



基本理念 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

《新任副院長あいさつ》

井田病院副院長 伊藤 大輔

本年4月に川崎病院から赴任いたしました。

専門は肝臓を中心とする消化器内科です。内科系副院長として地元医療機関との連携を密に保ちつつ、従来弱点であった救急医療を始めとした地域医療に最大限貢献できるよう院内体制を整備してまいります。

潜在的に素晴らしい医療資源・人的資源に恵まれた当院ですが、改築という千載一遇のチャンスにスタッフ全員が一致協力して医療機能向上に向かえば、他の医療機関の目標となるような更に高品位な病院に生まれ変わるものと信じています。

「川崎市が井田山に病院を維持してくれてよかった。」と皆様に認めていただくことが最大の目標です。



【眼科の手術をはじめました】



眼科では、白内障手術を開始致しました。

日帰り手術と2泊3日の入院手術をお選びいただけます。心臓病、糖尿病などお身体に他の病気のある方は入院手術がお勧めです。両眼手術の場合は9泊10日の入院手術も可能です。

手術を希望される方には、まず眼底検査、超音波検査などで詳しく診察を行い、白内障手術で視力が良くなると予想される方には手術のご相談をさせていただきます。白内障の他に眼の病気がみつかれば、そちらを先に治療した方が良いことがあります。

最近遠くが見づらくなった、とお感じになったら眼科外来へいらしてください。

(眼科副医長 中村 嘉代)

《新任医師紹介》

泌尿器科医長 長田 裕 (おさだ ゆたか)

4月から泌尿器科でお世話になっております長田裕です。平成8年に横浜市大を卒業して、2年間の研修後、井田病院で2年ほど働いていた時期がありません。専門は尿路悪性腫瘍一般です。

泌尿器科の場合、高齢者の割合が多く、治療の選択肢も多く、治療方針の決定で悩みが多いことと思われます。分かりやすく、納得できる説明を心がけております。幸い、13年前に比べ施設が新しくなり、充実した医療が提供できればと思っております。



泌尿器科副医長 藤川 直也 (ふじかわ なおや)

本年4月に井田病院泌尿器科副医長に就任しました。平成15年に三重大学を卒後に藤沢市民病院で研修し、横浜市大の泌尿器科に入局しました。これまで横浜市民総合医療センター、秦野赤十字病院、横浜南共済病院、県立足柄上病院で泌尿器科診療を行ってききましたが、川崎市で働くのは初めてであります。

井田病院の職員として病院の力になれるよう努力してまいりますのでなにとぞよろしくお願いいたします。



婦人科副医長 植木 有紗 (うえき ありさ)

本年4月に井田病院婦人科副医長として赴任いたしました。

専門は婦人科一般と、家族性腫瘍を中心とした遺伝相談です。

私は平成24年に臨床遺伝専門医資格を取得し、本年からは慶應義塾大学病院臨床遺伝学センターでの遺伝相談も担当させて頂いております。アンジェリーナ・ジョリーのニュースで家族性腫瘍に興味をもたれた患者様も多くいらっしゃいますが、BRCA1/2 変異の遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者様以外にも、家族性腫瘍の原因は考えられます。

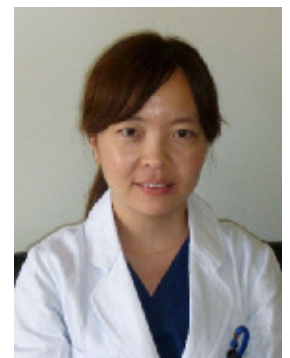
今後は、婦人科診療に加えて家族性腫瘍相談外来の設置も考えてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科副医長 矢部 はる奈 (やべ はるな)

本年4月に井田病院耳鼻咽喉科副医長として赴任いたしました。3月までの6年間は慶應義塾大学病院で耳鼻咽喉科全般の診療を行っていました。専門は音声・喉頭疾患で、音声に障害がある方に対する音声改善手術、喉頭癌や他の喉頭疾患に対する機能温存を目指した治療に積極的に取り組んでいます。

今後は地域基幹病院の耳鼻咽喉科として、近隣の先生方との連携を図りつつ、より一層の診療の充実に努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



《風しんが大流行しています！》

現在、関東地方では風しんが大流行しています。（昨年度同時期と比べると100倍近く）

風しんとは、風しんウイルスによっておこる、急性の発疹性感染症です。風しんは、免疫のない女性が妊娠中に感染すると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障を主な症状とする「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性があります。このことから、川崎市は風しん流行に伴う緊急対策事業として、予防接種の一部助成制度を始めており、井田病院でも接種することが可能です。

<対象>

川崎市民で、風しんにかかったことがなく、風しんの予防接種を受けた事がない人で次に該当する人。

・妊娠している女性の夫（児の父親）

※窓口で母子手帳の確認をさせていただきます。必ず母子手帳をご持参ください。

※7月8日(月)から上記対象のみとなりました。

<接種について>

受付：月曜日から金曜日 午前8時30分から11時まで

接種回数：1回

自己負担額：2,000円

助成期間：平成25年9月30日まで

予診票を記入後、内科にて体温測定、問診、接種を行います。



(感染対策室 井原 正人)

これからの時期、熱中症にご注意！！

熱中症ってなんですか？

高温の環境にさらされることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、身体の調整機能が対応しきれなくなり発症する障害の総称です。状況により死に至りますが、予防法を知っていれば防ぐことができます。また、応急措置を知っていることが大事です。

このような症状があるときは注意しましょう！

体温が高い、皮膚が赤い・熱い・乾いている、ズキンズキンとする頭痛、めまいや吐き気、意識が悪い、反応がとぼしい

もし熱中症を疑う人がいたらどうすればいいのでしょうか？

- ・風通しのよいところへ避難させましょう
- ・衣服は脱がせて水などをかけ、うちわなどで扇ぎましょう
- ・水分や塩分の補給をしましょう
- ・意識が悪い時などはすぐに医療機関を受診させましょう

どのようなことに注意したらよいですか？

- ・暑さをさけましょう
- ・服装を工夫しましょう
- ・こまめに水分補給しましょう
- ・急に暑くなる日に注意しましょう
- ・体調に気を配りましょう



(救急科副医長 高橋 俊介)

《イベント・研修会等のご案内》

市民公開講座

《申込不要・参加費無料》

市民向け

『遺伝性の癌』— 家族性腫瘍ってどんな癌！？ —

(講師：井田病院婦人科副医長 植木有紗)

◆平成25年9月5日(木) 14時～ 井田病院2階会議室・定員50名(当日先着)

『ちょっと知っておきたい肺がんのお話』

— 早期肺がんの自覚症状って？内視鏡手術ってどんな傷？治療期間は？ —

(講師：井田病院呼吸器外科医長 安彦智博)

◆平成25年9月17日(火) 15時～ 井田病院2階会議室・定員50名(当日先着)

(問い合わせ：地域医療部)

院内コンサート

鶴川グリーンエコーズさん コーラスコンサート



◆開催場所：井田病院 正面玄関ホール



◆開演時間：平成25年10月18日(金) 16時開演



どなたでも自由にお越しください！ (問い合わせ：市民交流委員会)

《初期臨床研修医のご紹介と教育への取り組みについて》

井田病院新棟の中央廊下右手に、2枚のパネルが掲示されています。そちらには、「当院が基幹型研修病院であること」「研修病院としての理念」が掲げられており、それは次のような内容です。

『高齢化する川崎市南部医療圏で、井田病院では市民のどなたも安心して暮らせるように、救急医療を含めたプライマリ・ケアを習得し、患者様に向かい合う豊かな人格を涵養しながら全人的な医療を身につけます。地域医療では通院困難な方の在宅医療も学べます。

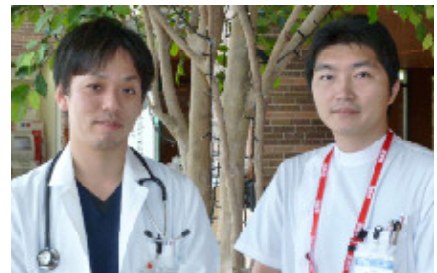
更に、がん拠点病院として、終末期の緩和ケア等癌の様々な問題にチーム医療の一員として積極的に取り組みます。』

井田病院は自治体病院であり、地域医療を担える医師を育成したいという希望からこの理念をつくりました。今年には阿南隆介先生と曾根原弘樹先生の2名を迎えましたが、お二人とも優しく真面目なお人柄で、教育することが共に学ぶことでもある喜びを私達に与えてくれます。

初期研修医は、1年目に内科(6か月)・外科(3か月)・救急(3か月)を学び、2年目は川崎病院で小児科・精神科・産婦人科を1か月ずつ研修します。その後は、当院で在宅医療や緩和医療を学びながら、将来の専門家を視野に入れて自由に診療科を選び研鑽を重ねていきます。研修中は病棟や救急外来を担当し、地域の皆様を診療させていただきますが、必ず上級医の指導のもとで診療しておりますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、井田病院は基幹型研修病院として認定されていますが、教育の現状について11月に卒後臨床研修評価機構による第三者評価を受けることになりました。評価を受けることにより、更に良い研修に繋がりたいと思っております。

(教育指導部長 麻薙 美香)



阿南医師(左)と曾根原医師(右)

発行責任者 柄崎 智

編集 川崎市立井田病院 広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1 電話 044-766-2188(代)

ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>

